

平成30年第7回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

9月10日（月）午前10時～	1	金澤大輔	議員	（30分）
	2	成田哲男	議員	（60分）
	3	倉岡誠	議員	（60分）
	4	安保誠一郎	議員	（30分）
	5	黒澤一夫	議員	（30分）
9月11日（火）午前10時～	6	田中孝一	議員	（30分）
	7	舘花一仁	議員	（60分）
	8	児玉政明	議員	（60分）

□質問時間割当表

10:00	10:30	10:40	11:40	13:00	14:00	14:10	14:40	14:50	15:20
9月10日（月）	金澤大輔 （30分）	休憩 10分間	成田哲男 （60分）	休 憩	倉岡 誠 （60分）	休憩 10分間	安保誠一郎 （30分）	休憩 10分間	黒澤一夫 （30分）

10:00	10:30	10:40	11:40	13:00	14:00
9月11日（火）	田中孝一 （30分）	休憩 10分間	舘花一仁 （60分）	休 憩	児玉政明 （60分）

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位		1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分	No.1
質 問 事 項					質 問 要 旨		
1 よつぎ小との都市農村交流事業について					① 今年で 34 年目を迎える、よつぎ小学校との都市農村交流事業。田舎の良さや、まるごと鹿角を発信でき、子供を通して都会とつながることのできる素晴らしい事業であり、これぞまさに関係人口と実感しているが、であればこそ、もっとたくさんの市民の方々に関わっていただきたいと考えるが、年々、市職員以外の一般の受け入れ家庭が減っているようだが、どのような要因があると考えられるか伺う。		
					② 修学旅行に、農業体験や田舎体験と民泊を組み込む、「農業体験修学旅行」や「ファームステイ」を取り入れる中学・高校がふえてきているようだが、本市でも、よつぎ小学校との 30 年来の交流の中で培われたノウハウを生かし誘致できれば、観光にも魅力発信にも、農作物の販路開拓にもつながると考えるが、取り組む可能性はあるか伺う。		
2 人口増対策について					① 以前あったと思うが、結婚で市外から相手を連れてきた場合、人口を1以上増やす可能性があるという点から、人口増に貢献ということで、お祝い金を贈るというのはどうか、考えを伺う。		
					② 同様の考えだが、平成 27 年国勢調査によると、鹿角は子供が 3 人以上いる、いわゆる多子世帯が 22.7%で、全国平均の 18.1%を上回っている。多子世帯が、今とこれからの鹿角の人口を支えているという見方もできるのではないかとという点から、現状では第 1 子にしかないお祝い金を、第 3 子、または第 4 子まで拡充できないものか、考えを伺う。		
3 共働によるまちづくりについて					① 市が掲げる「共働」の理念は、全ての事を「自分事」として捉えてもらって、全て行政頼みではなく、自分達でできる事は自分達で行動してもらいたいという、市民の意識を啓発するものと捉えているが、啓発には時間がかかると考える。そこで、「市民ポイント」のようなものを策定し、「共働」に当てはまる事をポイント制にし、貯まり次第、ふるさと納税のように、何かと交換または何かに還元できるような仕組み作りができないか。取り組む余地があるか伺う。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4 観光について				① 今回の補正予算で、道の駅おおゆへのエアーテント購入費が提案されているが、これはイベントの企画側にも参加側にとっても非常にありがたい提案と思う。だいたい何人収容できて、移動は可能なのか、他の施設にも貸し出しできるのか、有効性が実証された場合、「あんとらあ」や「アルパス」など他の施設にも導入する考えはあるのか伺う。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	十和田八幡平駅伝について		① 今年から大会の主催が全国マラソン連盟から本市となったが、運営上、昨年までと違いはあるか伺う。 ② 女性チームが4チーム参加したが、今回はさらにチーム数を増やすことを検討されるのか伺う。		
2	小、中学校の統廃合やスクールバスの利用等について		① 統合により廃校となった学校の建物、体育館、プールなどの利活用について伺う。 ② スクールバスを利用する児童、生徒の基準（通学距離）を拡充することを検討できないか伺う。		
3	リンゴや北限の桃など果樹について		① 今年为天候不順により低温の影響でリンゴや桃の収穫量などをどのように予想しているか伺う。 ② 減収などが見込まれた場合の対応策について伺う。		
4	障害者雇用について		① 国や全国の自治体で発覚している障害者雇用率の算定ミスであるが、本市ではどのような状況であるか伺う。 ② 雇用率にとらわれず本人が働きやすい環境づくりが第一と思うが、市の考えを伺う。		
5	地域医療体制の充実について		① 本市の産婦人科分娩施設が10月から大館市立総合病院に集約されるが、妊婦等交通宿泊費助成制度の内容を伺う。 ② 8月末に大学側と大館市立総合病院での協議が予定されていたが、現段階での状況について伺う。 ③ 子育て世代包括支援窓口が開設予定だが、どのような業務内容になるのか伺う。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6	地域公共交通網形成計画について		① 自治会が主体の地域乗合交通が増えてきた。今後、計画されている地域はあるのか伺う。 ② 地域公共交通網の計画にスクールバスへの住民混乗の検討もあるがその内容について伺う。		
7	観光産業による地域活性化について		① 十和田八幡平国立公園を活用したファムツアーが実施されたが、外国メディアの評価について伺う。 ② 昨年、かつの観光物産公社が日本版DMOの候補法人に登録されたが、今後の方向性について伺う。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 出生率の向上について					
(1) 子育て環境の優位性確保を			① 子育て支援策については、県の関連事業内容が充実された影響も大きいと思うが、ほとんどの市町村が肩を並べてきたのではないかと考えている。今こそ、新たな子育て支援策を創設して子育て環境の優位性を確保し続けることが必要だと考えるが、新たな事業の創設の必要性について市はどのように考えているのか伺う。		
(2) 第3子以降の子育て家庭の負担増をゼロに			① 合計特殊出生率2.07で人口規模が維持できるとされていることから、第3子以降の出産をもっと支援するべきだと思う。子育て家庭にとって第3子以降の出産が負担増にならないように、端的に言うと、子どもを2人育てるのも、3人以上育てるのも家庭の負担は変わらないと言えるまでの、思い切った支援策（負担軽減策）の創設が必要だと思うが、考えを伺う。		
(3) 子育ての不安をすべて解消して出産、子育てを前向きに			① 子育て環境の充実度を、子育て世代だけではなく、市民全体にわかりやすく周知するべきではないかと思う。充実度の好感を市民が共有することが、対外的には一番のPR効果につながり、Aターンの促進にもつながると考えるが、いかがか。		
2 小中学校の熱中症対策について			文部科学省では、エアコン設置に対して「学校施設環境改善交付金」として費用の1/3を補助する制度を設けているが、市町村の要望に全て応えるほどの予算がない状況が続いているとも伺っている。 先日は、愛知県知事が悲痛な訴えをしていた。菅官房長官は、公立小中学校の置かれている状況に配慮し、「エアコン設置のための政府助成を検討する」談話を発表した。そこで、鹿角市の実態について伺う。		
			① 市内小中学校のエアコン設置状況はどのようなになっているか。		
			② エアコンに代わる熱中症対策をこれまで講じているか。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3 鹿角市における働き方改革について			③ 市として計画的な整備計画を作成しているか。 ④ 次年度以降、国からの補助率が拡充された場合、最優先課題として設置していく意向はあるか。 我が国では、高度成長期に深夜勤務や休日勤務をいとわない「モーレツ社員」がもてはやされ、日本経済を支えてきたが、経済成長率が鈍化するとともに、長時間労働、正規・非正規社員の格差、労働人口不足が表面化し、これに過労死事案やパワハラ・モラハラ事案が労働環境を一層悪化させた。この解決策として、働き手を増やす、出生率を上昇させる、労働生産性を向上させることを旗印として働き方改革関連法が成立したが、施行されるのは来年以降、大企業・中小企業単位で3年に分割される。 このことから、政府が理想を掲げ、労働環境を飛躍的に改善しようとしても鹿角市で成果が表れるのは長期間を要するものと懸念している。そこで何う。 ① 市内の民間企業の働き方改革への取り組みはどのような現状か。 ② 率先して改革に取り組むことが期待される事業所として市役所の実態はいかがか。 ③ 雇用・勤務状態が法律の趣旨と大きく乖離しているにもかかわらず、全く旧態依然とした労働環境にメスが入ってこなかったため、働き方改革の大きな焦点にもなっている、学校教職員の実態は把握されているか。 ④ ①から③の実態把握から、官民間わす鹿角市における働き方改革について、どのような改革を進めようとしているのか。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	3	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4		「ユネスコ（世界遺産）のまち」 としての取り組みについて		⑤ 市として、民間企業を含めてどのような指導・関与等を行っていくのか。 ⑥ 官民合同の鹿角市版の働き方改革の実行プランを論議・作成し、強力に推し進めるべきかと考えるが、所見を伺う。	
				① 他自治体が羨望するほどの資源を生かし、「ユネスコ（世界遺産）のまち」として国内外に積極的にアピールし、目に見える媒体を駆使して、広く情報発信していく考えはないか伺う。具体的には、印刷物や交通案内板への表示、観光施設へのモニュメント設置、遺産所在地周辺や中心市街地へのタペストリー掲示（つづれ織りの織物。近年は、室内だけではなく屋外に広告サイン用として使用されるケースが増加中）、ＪＲや航空会社とタイアップした旅行商品造成など、アイデアは尽きることは無いと思われる。今から先んじて取り組むことが大事かと思うがいかがか。	
5		総合教育会議について		改正法の大きな点として注目を集めた総合教育会議の設置は、首長と教育委員会との距離を短縮し、一体となって教育施策の大局的な議論を行う場として、教育関係者だけではなく、我々議会としてもその行方に大きな関心をもっている。そこで伺う。	
				① 鹿角市における総合教育会議のこれまでの議論されたテーマ・内容はこういったものであったか。	
				② 法律が期待する「重点的に講ずべき施策」として、これまでどういった施策（政策）があったか。	
				③ 施策を予算化した事業はどのようなものがあったか。	
				④ その成果の把握と分析はされているのか。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	3	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6 森林環境税（仮称）と森林環境譲与税（仮称）について				⑤ 市民にどういう形で公表しているのか。 ⑥ それぞれ具体的にお答えいただくとともに、市長自身がこの総合教育会議のあり方をどのようにとらえ、教育行政に児玉カラーをどのように反映させていくのか、所見を伺う。 鹿角市の森林は約4割が民有林、民有林の6割が植栽等で造成された人工林でその8割が杉である。森林が林業の担い手不足で荒廃が確実に進んでいる今、新たな森林管理システムの構築が求められている。そこで伺う。 ① 来年度から前倒しで森林環境譲与税が配分されるようだが、その場合、本年度中に計画を立てなければならないと思うが、どう取り組んでいくのか。 ② 秋田県水と緑の森づくり税との違いを明確にすべきと思うが、どう説明するのか。 ③ 今後、関わりを持つことになる、所有者不明の森林は管内に存在するのか。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	安保誠一郎	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 花輪ばやしについて					
(1) 東京オリンピック開会式のセレモニーへの参加要請について			① 昨年の9月定例会一般質問において、オリンピックでのPRについては、具体的な内容として全国山・鉾・屋台保存連合会が検討していくとのことであったが、その後何らかの進展はあったのか伺う。		
(2) 花輪ばやし屋台の商店街への展示について			① 花輪ばやし屋台の商店街展示は、訪れる観光客への大きなPRになると思われる。6月定例会での他の議員からの質問に対しては、祭典委員会側からの具体的な要望がなく協議に至っていないとのことであったが、待つのではなく積極的な取り組みが必要と思うが見解を伺う。		
(3) 仮称「東北ファイブ」の組織化への取り組みについて			① 花輪ばやしだけではなく、近隣の祭り行事を含めた広域的な取り組みは、今後の観光事業に必要と思われるが見解を伺う。		
(4) 伝統芸能を観光資源として生かす取り組みについて			① 祭りごとには、古代から「神に祈る、頼る」という神事の部分と、現代では地域活性化のための観光資源という二面性があるが、政教分離という観点をどのように捉え、地域振興につなげていくのか見解を伺う。		
2 農林業支援について					
(1) 森林環境税について			① 昨年末の平成30年度税制改正大綱において、森林環境税（仮称）と森林環境譲与税（仮称）が決まったが、この2つの関連性はどのようなものか伺う。		
			② 森林事業であれば全てに利用できるのか、条件により限定されるのか、使途の範囲について伺う。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	安保誠一郎	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2) 森林所有者の負担を軽減する再造林対策について			① 再造林の実施を確保していくためには、伐採と造林の一貫作業システムなど、再造林後の保育などに負担が少なくなるような取り組みが必要と思うが所見を伺う。		
(3) 森林経営計画策定のための森林情報の整備について			① 林業の成長産業化を図っていく上で施業の集約化・効率化が必要だが、そのための各種森林情報の整備について伺う。		
(4) 熊対策について			① 8月20日に行われた「秋田県森林・林業・林産業活性化推進議員の会」主催の意見交換会で、出没抑制のために5地区で緩衝帯を設けているとのことだったが、その効果について伺う。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 農業振興と地域活性化への取り組みについて				① 秋田県では、野菜、枝豆、花卉などの大規模生産団地の造成、生産法人、農家への支援を進めている。当市においてはどのように取り組みを進めているか伺う。	
				② 農地の多い集落、自治会の中には作付けのない水田、畑地がふえてきている。農地保全活用と地域住民の労働力を生かした生産組織・団体の育成に力を入れて取り組み、地域のコミュニティーの活性化を図るべきと考えるが、そのような計画はいかがか。	
				③ 市の特産品の生産増大と、オールシーズンタイプの商品の開発が必要であるとする。このことについて伺う。	
2 大湯ストーンサークルの世界文化遺産登録への推薦候補選定に伴う今後の取り組みについて				① 2020 年の世界文化遺産への登録候補地として選定された。今後世界遺産登録を実現するための取り組みについて伺う。	
				② 市民の意識、関心を高めるための行事や運動も必要であるとするが、どのように計画をしているか伺う。	
				③ 遺跡の中央部を県道が通っている。登録の妨げとならないとよいと思うが、このことについて伺う。	
3 多発する自然災害への防災体制の取り組みについて				① 豪雨による風水害に対応すべく、情報発信、避難誘導等の対応、体制は十分にできているか伺う。	
				② 最近水害が多い状況である。米代川の堤防が八幡平大里、花輪久保田の浅利佐助商店（工場）前の 2 地点で市道の崩落、通行止めの状況である。対応を急ぐべきと考えるが、どのように対処しているか伺う。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4 花輪稲村橋から八幡平川部橋間の健康ロードの環境整備について			③ 市内全域において、河川、水利分岐点の点検はどのように取り組んでいるか伺う。 ① 水害や雪解け水による路肩の崩れ等が各所に散見される。安全に市民が利用できるような対処すべきと思うが、このことについて伺う。 ② 「水仙ロード」として美化にも取り組んでいるが、全線について植栽を計画しているか伺う。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	田中 孝一	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	市の政策について			① 毎年市民アンケートの実施結果が出されているが、効果が得られていると感じるもの、もっと力を入れて欲しいと感じるものとして、上位5項目があるが、アンケート結果をどのように認識し、政策として今後どのように取り組んでいく考えか伺う。	
				② 第6次総合計画後期基本計画に基づいた政策実現を実行しているが、鹿角市の基盤産業を生かした、地域活性化を図るために最も重要とする事業にこれまで以上の計画予算や人的人材を位置づけた事業展開が必要と考えるが、これに対する市長の所見を伺う。	
2	災害、防災対策について			① 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示の情報に実際に行動をしている人は少ないように思われるが、これまでの本市の現状と市民の認識に対する今後の指導や情報のあり方をどのように考えていくのか伺う。	
				② 高齢者の一人暮らしや身体障害者世帯など避難行動要支援者の避難支援の実態、また、地域の自治会などにおける今後の避難支援対策をどのように考えているのか伺う。	
3	地域安全対策について			① 管理不十分な状態にあって、環境美化や地域の住民に危険が伴うような影響のある空き家が増加している現状にあるが、当市の現在の状況と、今後の対策をどのように考えているのか伺う。	
				① オレオレ詐欺や悪質商法の手口が巧妙になっていることから、全国的に被害情報が見受けられるが、当市における消費生活トラブルの発生状況はどのようなになっているか。また被害防止や被害回復の支援をどのように考えているのか伺う。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	田中 孝一	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4 児童虐待について				① 昨年全国で児童虐待の相談や通告を受けて対応した件数が過去最多を更新したとされる。統計開始から 27 年連続の増加とされ、秋田県でも過去最多となる 460 件に対応している。当市の場合はあるのか。また、年々増加する傾向の中でどのように認識し、今後どのように取り組んでいく考えか伺う。	
5 自治会主催の敬老会開催支援について				① 敬老会についてはこれまで、スポーツセンターにおいて飲食を共にして開催してきた。コモッセで開催されて今年で 3 年目を迎え、多様な祝賀公演プログラムを組みながら実施されているが、飲食がないために交流が深まらないとする声もあり、自主的に自治会が敬老会を実施する場合に、交流を深めるための支援ができないか伺う。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 災害対策について (1) ライフラインの水害及び地震被害等について				① 地震被害等によるライフラインの寸断が市民生活に大きな影響を及ぼすが、市では防災計画策定にあたりどの程度の被害を想定し対策を行っているか伺う。 ② 老朽化した水道管の更新計画を策定するとともに、日々のパトロールなども重要になってくると思うが、どのように進めているか伺う。 ③ 災害時ライフラインの早期復旧のため、事前に関係機関との協定や情報交換をどのように行っているか伺う。	
(2) 市道路線の決壊箇所早期復旧について				8月15日から大雨被害により、洗掘された市道路線の復旧スケジュールについて伺う。 ① 組丁沢小路線について ② 米代川堤防1号線について ③ 米代川堤防3号線について	
(3) ブロック塀など通学路での危機対応について				① 通学路にはブロック塀のほか、水路や狭い歩道、大規模地震により崩れそうながけ地など多数の危険箇所が存在し、各学校がPTAなどと共に情報収集をしているが、その情報に対し、どのような対応をされているのか伺う。 ② 限りある予算の中でどうしても優先順位は必要となると思うが、どのような基準で順位を設定し、予算を配分しているか伺う。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(4)移住者等への災害対応について			① 本市へ移住した方が災害に遭われた時にどのように対応していくのか伺う。(避難所の位置、自治会等のつながりなど) ② インバウンド効果により、本市にも外国人観光客が多くなってきているが、観光時の災害対応はどのように取り組んでいるのか伺う。 ③ 札幌市や天理市など数多くの自治体が防災アプリを導入しプッシュ型の情報配信を行っているが、本市もしくは鹿角広域行政組合を組織している小坂町と共同で導入することを検討できないか伺う。		
(5)ため池や砂防ダムの決壊による二次災害防止のための取り組みについて			① 西日本豪雨災害ではため池や砂防ダムの決壊により多くの住宅が流されたが、本市にあるため池や砂防ダムはどの程度存在するか伺う。 ② ため池の強化、砂防ダムの強化のみならず堆積土砂を取り除くなど対策が必要と思われるが、どのような対策を行っているか伺う。		
(6) 気象台との連携について			① 気象庁では来年度から関東甲信の気象台で災害への危機意識を共有できる関係づくりを強化するという報道があったが、異常気象のみならず火山噴火など本市の災害対策に専門家の知見を取り入れ、本市に災害が起きる恐れがある際に迅速な連携を取れる関係性を強化すべきと思うが、いかがか。		
2 防犯・交通安全について					
(1)防犯カメラの設置状況について			① 防犯カメラの本市公共施設や路上への設置状況について伺う。		
(2)公用車へのドライブレコーダー設置について			① 「動く防犯カメラ」として公用車へドライブレコーダーを設置すべきと思うが、いかがか。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	7	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3)防犯カメラやドライブレコーダー購入補助制度について				① 無謀な運転抑止と防犯対策のため、防犯カメラの設置やドライブレコーダーを購入し装着した個人または企業に対し補助制度を創設できないか伺う。	
3 支所機能について				① 支所機能を縮小する場合、マイナンバーカードによるコンビニ交付の強化などがセットとなるが、マイナンバーカードの取得率向上対策はどのように考えているか伺う。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	災害に強い地域づくりについて				
	(1) 避難への取り組みについて		① 災害が発生し避難情報が発令された場合、避難しなければならないと思う市民の意識改革への取り組みと、避難場所への避難経路は各危険エリアにおいて確認されているのか伺う。		
	(2) 避難確保計画の作成について		① 水防法及び土砂災害防止法の改正により、浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設に、避難確保計画の作成が義務付けられたが、計画が必要な施設は指定しているのか。指定している場合はその施設数と、避難確保計画の作成が進んでいない理由、また、作成に向けた今後の取り組みと働きかけを伺う。		
	(3) 消防本部と消防団の連絡体制について		① 無線のデジタル化により消防団車両搭載の受令機は何台中何台がデジタル無線対応になっているのか。また、団員の機動力を高めるためにも全車両でデジタル無線対応の受令機に更新する必要があると思うが考えを伺う。		
2	公共施設の利活用について				
			① 末広小学校と草木小学校をはじめ、2021年度まで今後不用と見込まれる6施設について、公共的な用途での利活用策を考えているか伺う。		
			② 利用率が低い公共施設について、当初の目的では利用者の増加が望めない状況の施設を、思い切って用途を変えることも有効活用の一つの方法と思うが考えを伺う。		
			③ 八幡平の大地平農村公園の利用状況と、今後の利活用策として、ドッグランや秋田犬とのふれあい場所として活用することができないか伺う。		

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	8	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3 スキーと駅伝のまちの推進について (1) スキー人口の底辺拡大について (2) 市内開催の駅伝大会について				① スキーと駅伝のまちを標榜する本市で、スキー人口の底辺拡大に向けて取り組んでいることは何か伺う。 ② 今年度はスノーフェスティバルが開催されないということだが、スキーに親しむ機会を提供することが底辺拡大につながり、将来の競技人口拡大にもつながると思うが、再開する考えはないか伺う。 ① 十和田八幡平駅伝競走大会について、今年の大会の総括と課題に対する今後の取り組み、特に女子の参加チームの増加策について考えを伺う。 ② 第5回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！鹿角大会の開催に向けての準備や、県内各地から参加する選手や応援者へのおもてなし等、どのように計画して進めているか伺う。	
4 小中学校の熱中症対策と部活動の指導環境について (1) 小中学校の熱中症対策としてエアコン設置について (2) 中学校の部活動指導員について				① 夏休み前の1学期終盤は気温の高い日が続いたが、市内小中学校で熱中症やそれに類似した症状で体調を崩した児童生徒はいなかったか。また、対策として普通教室へエアコン設置の可能性について伺う。 ① 中学校教員の部活動指導による時間外勤務の対策にどのように取り組まれているか。また、部活動指導員制度の活用は今後必要になると思うが、導入の可能性について伺う。	

平成30年第7回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	8	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5 関係人口について				① 関係人口モデル事業を利用して将来的に本市が目指す姿と、どのような方々を関係人口としてカウントしていくのか考えを伺う。 ② 迎え入れる側の人づくり、地域づくりはどのように進めていくのか考えを伺う。	